第８節　特筆すべき動物

第１項　オオタカ・ハイタカ

１－１　調査概要

評価書の調査において確認した特筆すべき陸上動物のオオタカ、ハイタカの追跡調査を実施した。

１－１－１　調査年月日及び調査内容

調査は表８－１に示したとおり、平成 13 年４月及び平成 14 年１月から３月にかけて実施した。

表８－１　調査年月日及び調査内容

調査回	調査日	調査時間	調査内容
第１回	平成 13 年４月 17 日	6:30～13:00	生息確認調査
第２回	平成 14 年１月 25 日	7:00～13:00	
第３回	平成 14 年２月 14 日	6:30～13:00	
第４回	平成 14 年３月８日	6:30～13:00	

１－１－２　調査地点

調査地点は、図８－１に示したとおり、中間処理（溶融処理）施設建設地と最終処分場計画地を広く見渡せる２地点で実施した。

１－１－３　調査方法

調査は定点観察により行い、オオタカ及びハイタカの飛翔が確認された場合は行動を追跡し、把握することとした。

また、調査時間は、原則として日の出から昼過ぎまでとした。

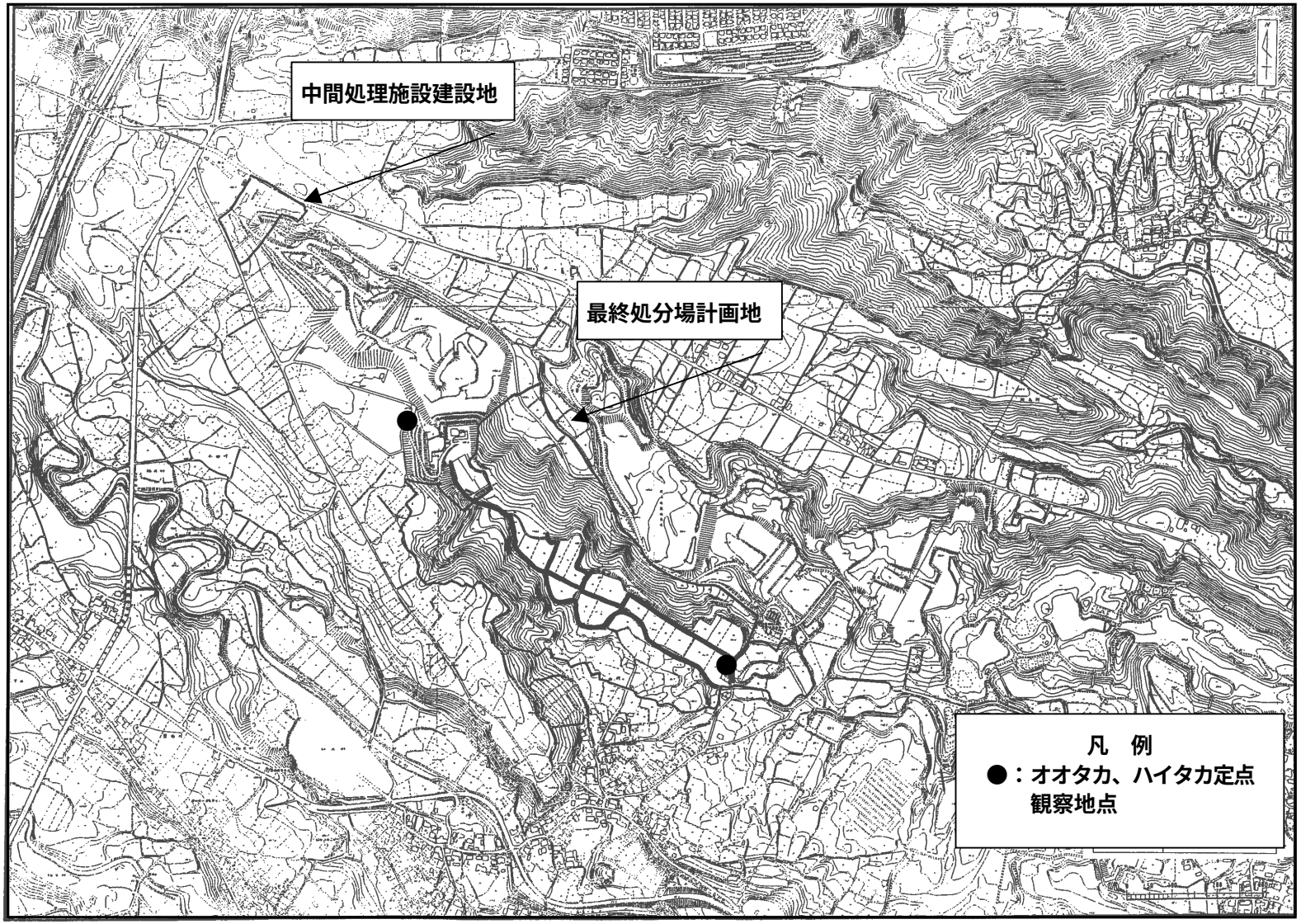

図８－１　オオタカ・ハイタカ調査地点

１－２　調査結果

調査の結果、表８－２に示したとおりハイタカを２例確認したが、確認状況はいずれも飛翔のみで、繁殖を示唆する行動は確認できなかった。

ハイタカの確認状況を図８－２に示した。

また、今回の調査ではオオタカは確認できなかった。

表８－２　ハイタカ確認状況

№	確認年月日	成幼・雌雄	確認時間	確認状況
1	平成 14 年３月８日	成鳥・不明	6:50	計画地東部上空を北東から南西へ通過した。
2		成鳥・不明	10:20～10:21	計画地東部上空で旋回している１個体を確認。すぐに東方向へ飛去した。

注）表中№は図８－２に対応

１－３　まとめ

調査の結果、３月の調査時にハイタカを２例確認した。確認状況はいずれも飛翔のみであり、繁殖を示唆する行動は確認できなかった。

オオタカは確認できなかった。

最終処分場計画地の北側には一般廃棄物最終処分場があり、ここを餌場としているハシブトガラス及びハシボソガラスが本地域周辺を生息環境として利用している状況である。

さらに、最終処分場計画地一帯の森林をこれらカラスが塒として多数利用しており、カラス同士のなわばり争いや、他の大型鳥類（トビ）への攻撃などが頻繁に行われている状況であった。

このことから、当該地域はオオタカ、ハイタカ等の猛禽類の繁殖には適さない環境であると考えられる。

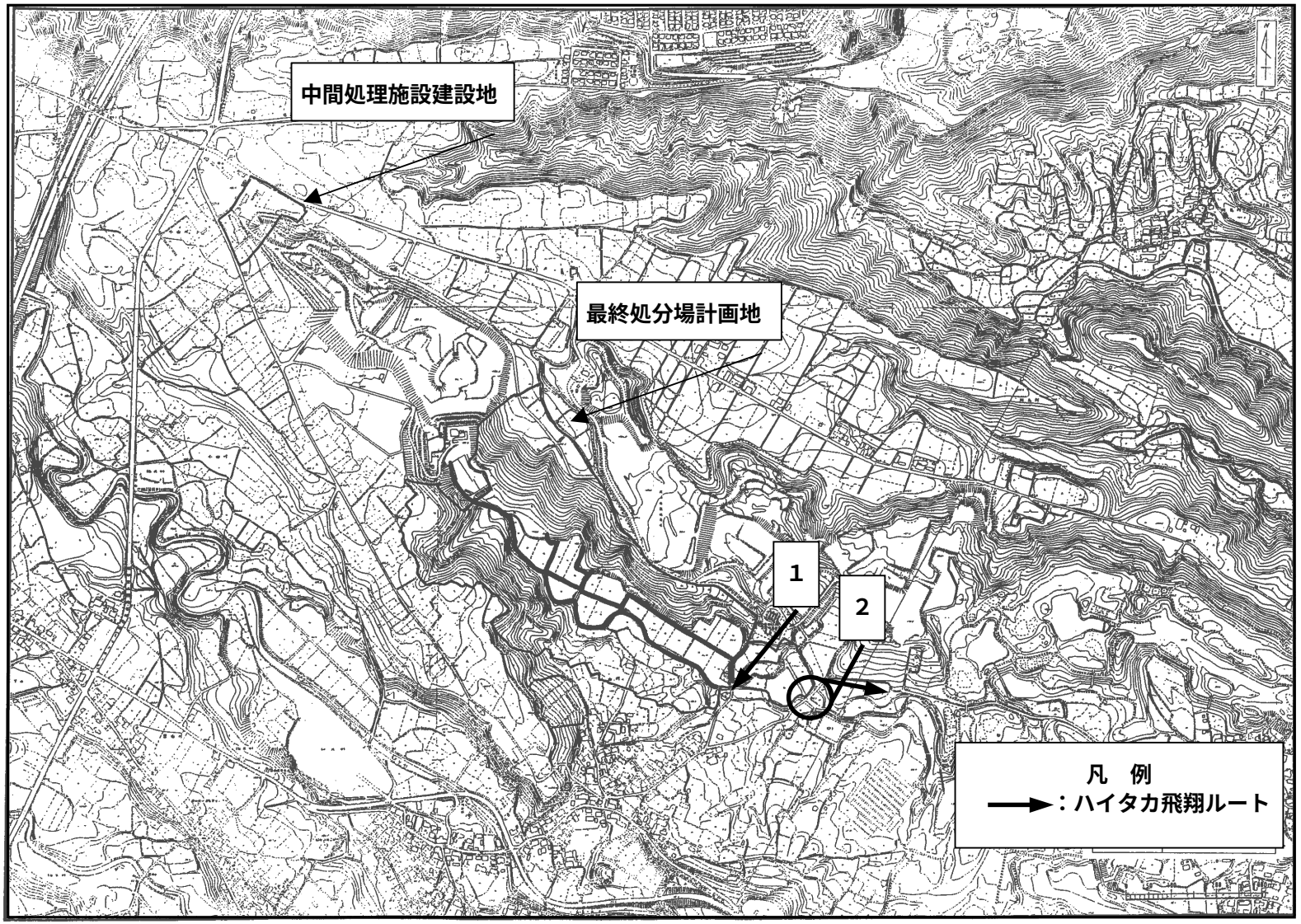

図８－２　ハイタカ確認状況

第２項　チュウサギ・サンショウクイ・タゲリ

２－１　調査概要

評価書の調査において確認した特筆すべき陸上動物のチュウサギ、タゲリ、サンショウクイの追跡調査を実施した。

２－１－１　調査年月日及び調査内容

調査は表８－３に示したとおり、夏鳥であるチュウサギ、サンショウクイを６月に、冬鳥であるタゲリを 12 月に実施した。

表８－３　調査年月日及び調査内容

調査対象種	調査年月日	調査内容
チュウサギ	平成 13 年６月 18 日	任意観察調査
サンショウクイ	平成 13 年６月 18 日	
タゲリ	平成 13 年 12 月 19 日	

２－１－２　調査地点

調査の調査地点は、図８－３に示したとおり、最終処分場計画地周辺で実施した。

２－１－３　調査方法

調査は調査範囲内を任意に踏査する任意観察調査により実施した。

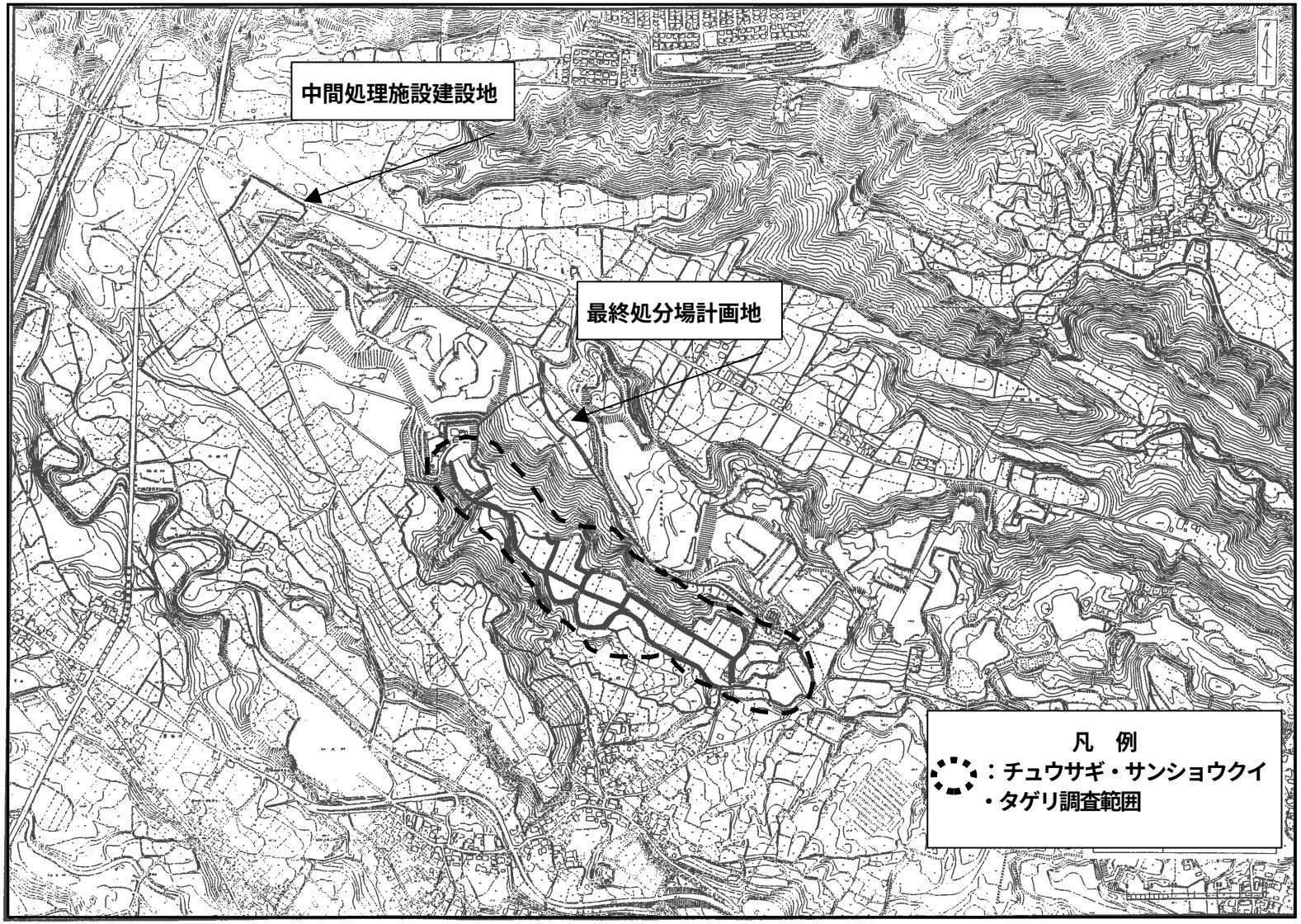

図８－３　チュウサギ・サンショウクイ・タゲリ調査範囲

２－２　調査結果

調査の結果、調査対象種３種のうち、チュウサギ、タゲリの２種の生息を確認した。

確認した状況は、チュウサギは、最終処分場計画地の東側水田で採餌中の１個体を、また、５月の地下水調査時に同地点で採餌中の１個体を確認した。

タゲリは、本種を対象とした調査時には確認できなかったが、２月のオオタカ調査時に、上空を飛翔する１個体を確認した。

なお、サンショウクイは確認できなかった。

チュウサギ、タゲリの確認状況を図８－４に示した。

２－３　まとめ

本調査の結果、対象とした３種（チュウサギ、タゲリ、サンショウクイ）のうち、チュウサギ、タゲリの２種を確認した。

チュウサギは、本地域では留鳥とされており、繁殖も行う種であるが、本地域周辺では本種の繁殖地に適する場所はないことから、本種は本地域を餌場の一部として利用しているものと思われる。

タゲリについては、本地域では冬鳥とされており、本地域周辺では繁殖は行わないことから、本種についても本地域を餌場の一部として利用しているのみであると思われる。

サンショウクイについては、本地域では夏鳥とされており、今回は生息は確認できなかったが、本種を確認した現況調査時と比べ、周辺の環境は大きく変化していないことから、今後も飛来する可能性はあると思われる。

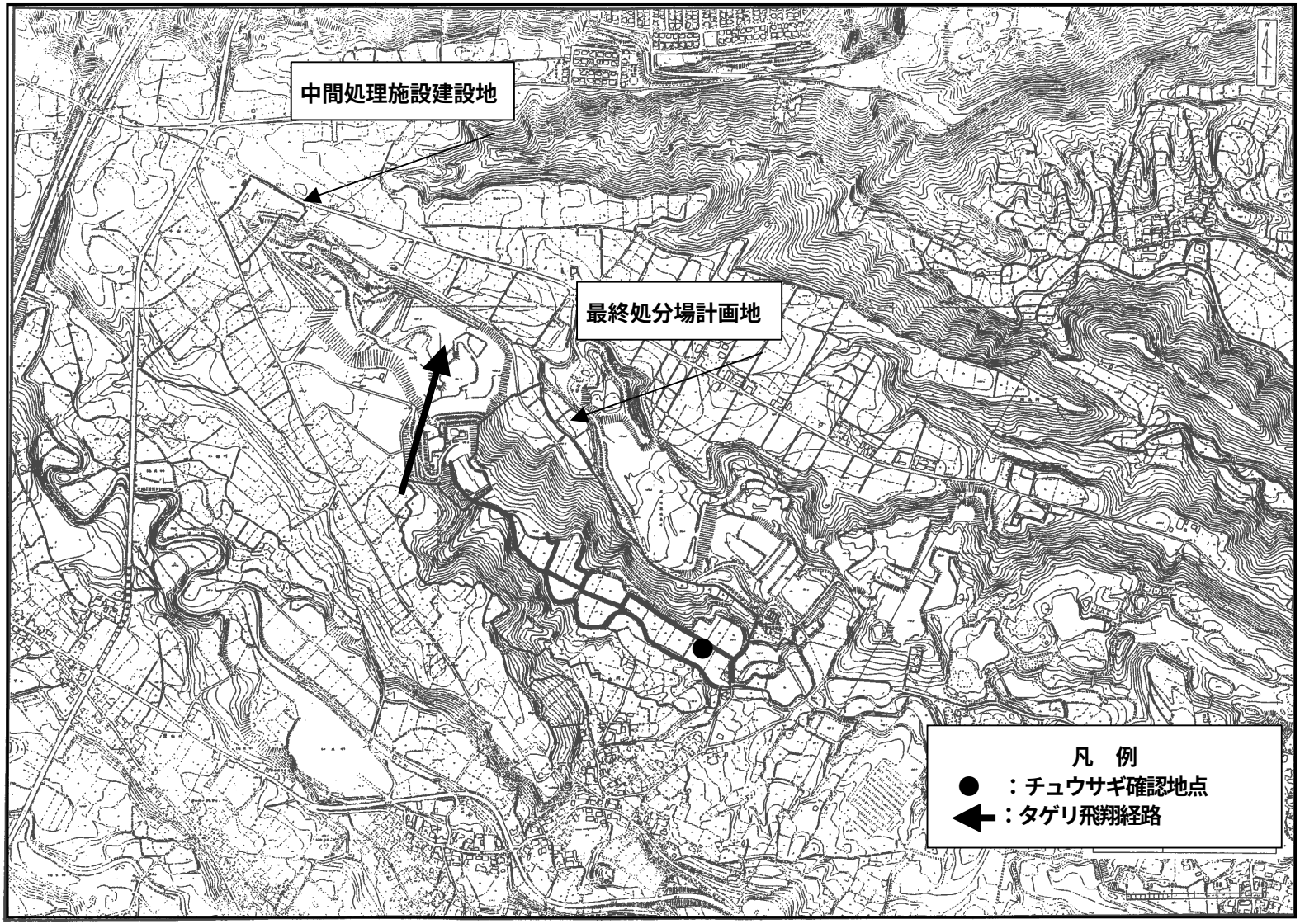

図８－４　チュウサギ・タゲリ確認地点